

'97年度 秋の学会 原子核三者若手総会議案書

1 会計報告(三者センター)

金沢大学 素粒子論研究室 友寄 全志

e-mail address : tomoyose@hep.s.kanazawa-u.ac.jp

(現在分かっているところまで)(単位：円)

1. 三者若手全体の決算

収入		支出(見込みも含む)	
前年度繰越金	1,314,834	三者センター校	10,000
各研究機関からの援助 (校費+旅費等)	1,068,860	三者準備校	8,652,185
各研究グループからのカンパ (現金)	450,000	三者事務局	100,000
三者会費 (高エネルギー)	0	三者名簿校	283,040
(原子核)	0	高エネルギーパート	21,000
(素粒子)	0	原子核パート	100,000
夏の学校会費(学生) (参加費)	1,080,000	素粒子パート	70,000
(宿泊費・食費・コンパ代)	7,451,760	M 大連	0
若手名簿の売り上げ	240,540	Working Group	0
合計 (現金)	11,035,994	講師旅費・日当	208,660
(校費)	570,000	予稿集印刷費(校費)	300,000
		講義録印刷費(校費)	270,000
		合計 (現金)	9,444,885
		(校費)	570,000

残高(現金) 1,591,109 円

2. 各研究機関・研究グループからの援助内訳

研究機関・研究グループ	区分	援助額(円)
基研	講師の旅費等	498,860
	校費(予稿集印刷費)	300,000
RCNP	校費(講義録印刷費)	270,000
素粒子論グループ	カンパ	450,000
	合計	現金 948,860 校費 570,000

3. 各担当校別収支

・三者センター

収入		支出	
三者センターより	10,000		0
合計	10,000	合計	0
	残高		10,000 円

・三者事務局

収入		支出	
三者センターより	100,000	郵送費等	27,330
合計	100,000	合計	27,330
	残高		72,670 円

・三者準備校

収入		支出	
三者センターより	250,000	下見・契約	29,006
参加費 (3,000 円 × 359 人)	1,077,000	郵送費	41,750
宿泊費・食費・コンパ代		ポスター代	63,000
(学生 + 講師)	7,536,760	文房具	1,134
参加者旅費補助 (学生)	205,200	宿泊費・食費・コンパ代	7,569,900
		雑貨 (コピー代等)	23,075
		参加者旅費補助 (学生)	750,320
		給金 (学生)	174,000
		三者センターへ返金	416,775
合計	9,068,960	合計	9,068,960
	残高		0 円

・三者名簿校

収入		支出	
三者センターより	42,500	名簿作成費	246,500
各研究室より (名簿代)			
380 円 × 633 冊	240,540		
合計	283,040	合計	246,500
	残高		36,540 円

・高エネルギーパート

収入		支出	
三者センターより	21,000	パート準備校経費（以下内訳）	12,535
		OHP 用ランプ	7,000
		講義録作成費用	
		トラペコピー代	1,820
		カセットテープ代	3,715
		次年度繰越金	8,465
合計	21,000	合計	21,000
	残高	0 円	

・原子核パート

収入		支出	
前年度繰越金	212,431	パートセンター校経費	1,670
三者センターより	100,000	パート準備校経費	100,000
利子	60	交流パンフ校経費	18,500
		将来計画校経費	0
		次年度繰越金	192,321
合計	312,491	合計	312,491
	残高	0 円	

・素粒子パート

収入		支出	
三者センターより	70,000	パート事務局経費（以下内訳）	1,265
		振込手数料	865
		コピー代	400
		パート準備校経費（以下内訳）	59,348
		バッテリー	9,450
		文房具	3,141
		8 mm テープ	5,796
		電池、カセット	8,838
		ビデオテープ	472
		郵便代（アンケート）	12,720
		宅急便（往復）	3,710
		宅急便梱包	577
		ケーブル（レンタル）	1,050
		困む会 諸費用	11,564
		コピー	2,030
合計	70,000	合計	60,613
	残高	9,387 円	

2 若手名簿決算報告書

三者名簿校(97年度) —広島大学(核)、神戸大学(素)—

- 前回の総会における名簿校の議案書に誤りがあったので訂正する。
- 現段階では配送が完全には終了していないため、暫定会計を呈示する。なお、完全な会計は決定次第、報告する。

前回の会計報告(誤り)

収入	素粒子パートより	30,000 円
	核パートより	20,000 円
	各研究室より(名簿代)	$633 * 380 = 240,540$ 円
支出	名簿作成費	約 246,500 円
	収入 - 支出	44,040 円

訂正された会計報告

収入	三者より	50,000 円
	各研究室より(名簿代)	$638 * 380 = 242,440$ 円
	郵送費	57,580 円
支出	名簿作成費	約 256,012 円
	郵送費	57,040 円
	収入 - 支出	36,968 円

- 前回の総会の議案書では、その段階においては郵送費の計上が不可能であったので記載していなかったが、今回記載した。また、一部について予定より安い郵送方法があった場合にそれを利用したので少額の黒字がある。
- 名簿作成費のうち消費税分を考慮していなかった為、今回訂正した。また、印刷所からの輸送費用が予定より安く済んだので、前回の作成費からの増分は消費税分より少なくなっている。
- 名簿配送中の紛失が発生したため、現在の段階では完全に配送が完了していない。現在、各研究室の連絡責任者に問い合わせ中であり、紛失等が判明次第、随時発送し直している。
- 三者名簿校(97年度)連絡責任者

原子核パート担当校(広島大学)責任者
新船 弘之(Arafune, Hiroyuki)
E-mail : arafune@theo.phys.sci.hiroshima-u.ac.jp

素粒子パート担当校(神戸大学)責任者
多賀 文吾(Taga, Bungo)
E-mail : taga@hetsun1.phys.kobe-u.ac.jp

3 予算案

東北大学 若手

この議案書は'97/09/17 現在のものです。

3.1 予算の獲得について

3.1.1 前年度繰越金

1,591,109 円を三者の繰越金として保管

192,321 円を原子核パートが繰越金として保管

3.2 各研究機関からの補助内訳（申請については予定）

機関名	区分	申請額	前年度援助額
基研	講師の旅費等	500,000	498,860
基研	校費（予行集印刷費）	200,000	300,000
RCNP	校費（講義録印刷費）	270,000	270,000
旧核研	校費	200,000	0

3.2.1 研究グループからのカンパ（申請については予定）

機関名	申請額	前年度援助額
核物理委員会	100,000	0
高エネルギー同好会	200,000	0
素粒子論グループ	450,000	450,000

3.3 予算の配分について

3.3.1 三者四役の予算案

機関名	各機関の申請額	今年度予算（案）	前年度使用額
三者センター	0	0	0
三者事務局	100,000	30,000	27,300
三者準備校	?	1,100,000	?
三者名簿校	42,500	40,000	

備考

三者名簿校 名簿校の予算は基本的に発注と注文の差が出たときの保険的役割がありましたが、97年度から注文後に発注することになりこの保険的役割がなくなるのですが、今後名簿の活用の仕方が変化する可能性もあり、そのことを考え97年度と同額を申請します。（三者名簿校）

3.3.2 各パートの予算案

パート名	各パートの申請額	今年度予算(案)	前年度使用額
高エネルギー	20,000	20,000	12,535
原子核	140,500	140,000	120,170
素粒子	100,000	100,000	60,613

備考

高エネルギー 高エネルギーパートでは、補助問題に関して、補助を要求する立場にありますが、補助問題に関しては継続審議となっているために、今回の予算案は暫定とします。(高エネルギーパート準備校)

<内訳>

事前宿泊費(2人) 6000

OHPランブ 5000

掲示用画用紙など 2000

講義録作成費用

カセットテープ 4000

トラベコピー 2000

連絡費・諸費用 1000

合計 20000

原子核 パンフ校についてはまだ不明なので、去年の使用額(18,500)で計算。(三者センター校)

<内訳>

原子核パート準備校(計120,000円)

研究会の Review talker への謝金 20,000円*3 = 60,000円

通信費 20,000円

印刷費 20,000円

Topicsの講師への謝金 20,000円

原子核パートセンター校(計2,000円)

郵便代 2,000円

素粒子 <内訳>

素粒子論パート準備校の予算案

65,000円

素粒子パート事務局の予算案

35,000円

M大連 連絡責任者からの連絡なし。また、現在、実質的には活動していないようなので今年度の予算には考慮しなかった。(三者センター校)

4 講義録に関する議案

97年度素粒子パート事務局 九州大学

今年の夏の学校のパート総会の際に次のような意見が出されました。

1. 今までのものを含めて講義録を基研のホームページに ps 形式で載せたらどうか
2. 講義録を『素粒子論研究』に載せたらどうか

この2つの意見についての賛否を話し合いたいと思います。

4.1 目的

1の意見は過去に行われた講義でも、関心があれば誰でもすぐにその講義録を入手できるという利点があります。

また2の意見にある『素粒子論研究』というのは、素粒子論グループが毎月発行している機関誌で、素粒子論に関する論文、研究会報告などが掲載されています。この『素粒子論研究』に載せようという意見は、夏の学校で若手がどんな講義を受けているのかを、素粒子論グループの方々に知ってもらおうというのが目的です。

この2つの意見の実現によって、今まで製本してきた講義録が必要なくなれば、その分経費の節減になるし、また、スタッフの方々から若手活動にもっと関心を持ってもらえんと思います。

4.2 具体的な議論

1の場合、素粒子パートの準備校に問い合わせたところ、今年の講義録は Tex で作成する予定なので、それを ps 形式にするのは問題ありません。過去の講義録も Tex で作成した file が残っていればいいのですが、そうでないものについてはどうするか、またそれらの作業は誰がやるのかということについて話し合う必要があると思います。

また2の意見については、この総会で賛同が得られれば、具体的な部分はパート総会で話し合う予定です。こちらは講義録の原稿をそのまま『素粒子論研究』の編集部まで送ればいだけなので、あまり手間のかかる作業ではありません。また、ほかのパートにもこのような機関誌があるのであれば、若手活動をアピールするために、そちらのほうでも話し合っしてほしいと思います。

文責：森本 康二郎 (九州大学)
mori@higgs.phys.kyushu-u.ac.jp